

講義録レポート

講 座	証券アナリスト	科目①	財務分析	
目標年		科目②		
コース	1次秋試験向け 3科目横断実践セミナー	回 数	1	回
収録日	2012 年 5 月 16 日			
講師名	谷口 先生	講義録 枚数	1	枚 ※レポート 含まず
		補助資料 枚数	3	枚 ※表紙含む
講義構成	講義 (2 4) 分			
使用教材	①			
	②			
	③			
	④			
配布物	有 . 無			
	①			
	②			
	③			
正誤表	有 . 無 枚			
備考				

証券アナリスト 講義録	科目	財務分析	コース	1次対策 秋演習ゼミナ	回数	/

配布物	★ミニテスト：あり []	なし	★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説	講師	谷口 先生
	★実力テスト：あり []	なし	★その他のレジュメ []		
	◇配布物なし				

テキスト ページ	黒 板 内 容
	○ 学習の範囲 企業活動 ↓ 会計処理 → B/S ※ ルール P/L → 分析 30~35% → 株式価値評価 5%~10% ← 55~65% →

(1次) 財務分析

1. 出題分析 (全体)

全問マークシート方式の選択問題で、解答数は 60 問前後となっています。60%以上の得点を効率よく積み重ねるためには、出題傾向が安定している第 4 問の財務分析問題で、まとまった得点の確保を目指す必要があると思われます。また、第 1 問の正誤選択問題は、第 2 問、第 3 問の計算問題（会計処理等）の知識から正答を得られるケースも多いため、相互に関連付けた学習が効果的でしょう。

図表：財務分析大問別の配点

	H21 秋	H22 春	H22 秋	H23 春	H23 秋	H24 春
第1問 正誤選択問題	30	34	32	34	34	34
第2問 計算問題	16	12	14	12	10	12
第3問	18	18	18	18	20	18
第4問 財務分析問題	26	26	26	26	26	26

計 90 点

2. 大問別出題分析

(1) 第 1 問 正誤選択問題

正誤選択問題では、特定の分野に偏ることなく幅広い出題が見られます。出題範囲すべての習得は負担が大きいため、まずは頻出論点の習得を優先させてください。

平成 23 年春 (34 点)	平成 23 年秋 (34 点)	平成 24 年春 (34 点)
①会計制度	①会計監査	①会計情報の役割
②会計監査	②貸借一致	②会計監査
③流動固定の分類	③連結財務諸表	③会計情報の特徴
④連結 C F 計算書	④負債会計	④ C F 計算書
⑤連結会計	⑤繰延資産	⑤資本
⑥利益計算	⑥連結会計	⑥連結会計
⑦包括利益	⑦利益計算	⑦包括利益
⑧ C F と損益	⑧収益の認識	⑧収益の認識
⑨工事進行基準	⑨営業外費用	⑨収益・費用の測定
⑩棚卸資産の評価	⑩棚卸資産の評価	⑩ C F と損益
⑪減価償却	⑪棚卸資産の原価配分	⑪固定資産の会計処理
⑫貸倒見積高の算定	⑫減損会計	⑫負債に関して
⑬退職給付会計	⑬時価評価	⑬固定資産の減損
⑭在外支店	⑭外貨換算	⑭有価証券の評価
⑮ファイナンス・リース	⑮ファイナンス・リース	⑮退職給付会計の負債概念
⑯税効果会計	⑯百分率財務諸表	⑯外貨建項目の換算
⑰サステイナブル成長率	⑰残余利益	⑰ F C F E

(2) 第2問 個別計算問題

繰り返し出題される論点も多く、過去の出題と同様の計算手順で解答できる問題も多いため、特に過去の出題論点の反復練習が有効です。

平成 23 年春 (12 点)	平成 23 年秋 (10 点)	平成 24 年春 (12 点)
問 1 株主資本	1 連結 P/L	問 1 棚卸資産の原価配分
問 2 工事契約	問 2 減損会計	問 2 減価償却
問 3 棚卸資産の原価配分	問 3 外貨換算	問 3 退職給付会計 (勤務費用)
問 4 減価償却 (250%定率法)	問 4 株式価値評価	問 4 退職給付会計 (退職給付費用)
問 5 減損会計	問 5 P V G O	問 5 税効果会計
問 6 税効果会計		問 6 P V G O

(3) 第3問 総合計算問題

第3問の総合計算問題は、第2問に比較し難易度が高い傾向のため、解法の不明な問題等に深入りしない注意が必要です。ただし、全ての設問の難易度が高い訳ではないため、容易に解答可能な論点は積極的に解答する必要があります。

平成 23 年春 (18 点)	平成 23 年秋 (20 点)	平成 24 年春 (18 点)
I 有価証券の会計処理	I 減損会計	I 有価証券の評価
問 1 期末評価額	問 1 固定資産の減損	問 1 売買目的有価証券
問 2 期末評価損益	問 2 有価証券の減損	問 2 償却原価法
問 3 強制評価減	問 3 C F 見積法	問 3 評価損益の計上区分
II 企業結合会計	II その他有価証券の会計処理	II 企業結合会計
問 1 パーチェス法	問 1 期末評価損益	問 1 のれんの算定
問 2 全面時価評価法	問 2 税効果額	問 2 株主資本の増加額
問 3 持分プーリング法	問 3 税効果額	問 3 少数株主持分の算定
III 株式価値評価	III 退職給付会計	III リース会計
問 1 F C F E	問 1 割引率	問 1 リース債務残高 (契約時)
問 2 残余利益	問 2 退職給付債務	問 2 リース資産の減価償却費
問 3 株主資本の内在価値	問 3 退職給付費用	問 3 リース債務残高 (期間中)
	問 4 数理計算上の差異	

(4) 第4問 分析総合問題

分析総合問題は、1次試験の全配点の30%弱を占めており、その出来不出来が合否に直結すると考えられます。収益性分析と安全性分析を中心とした出題で、出題される財務指標も安定しているため、正誤選択や計算問題よりも、得点を伸ばしやすいと言えます。ただし、問題文や財務諸表など与えられる資料が非常に多いことから、限られた時間で効率よく解答を導き出すための対策が必要となります。

具体的な対策としては、過去の問題等を使用した、定期的な反復練習が有効となります。繰り返し問題を解く中で、基本テキスト等を活用し、頻出の財務指標を中心に、その計算式とそれぞれの指標が意味する内容の習得を図ってください。適切な財務指標の選択を素早く行うためには、それぞれの財務指標の意味する内容を知っている必要があり、また、財務諸表から必要な数値を素早く取り出すためには、計算式を正確に記憶していることが必要です。

正確さに加え速さも要求されていることを念頭に、準備を進めることが重要です。

平成23年春 (26点)	平成23年秋 (26点)	平成24年春 (26点)
(連結、クロス、航空業)	(連結、時系列、機械装置製造業)	(連結、時系列、小売業)
(1) 資本利益率 ROE (3 指標分解) (2) 売上高利益率の分析 百分率損益計算書 損益分岐点分析 損益分岐点売上高 損益分岐点比率 (3) 資本回転率等の分析 手元流動性比率 棚卸資産回転期間 有形固定資産回転率 (4) 安全性分析 自己資本比率 当座比率 固定長期適合率 インタレスト・カバレッジ・レシオ	(1) 資本利益率 経営資本営業利益率 (2 指標分解) (2) 売上高利益率の分析 百分率損益計算書 (3) 損益分岐点分析 損益分岐点売上高 損益分岐点比率 (4) 資本回転率等の分析 棚卸資産回転期間 有形固定資産回転率 売上債権回転期間 (5) 安全性分析 当座比率 自己資本比率 固定比率 インタレスト・カバレッジ・レシオ	(1) 資本利益率 ROE (3 指標分解) 配当性向 サステナブル成長率 (2) 売上高利益率の分析 百分率損益計算書 (3) 資本回転率等の分析 売上債権回転率 棚卸資産回転期間 有形固定資産回転率 (4) 安全性分析 当座比率 自己資本比率 固定比率